

最優秀賞 高等学校部門



令和3年度地球温暖化防止にみんなで取り組む「福島議定書」事業の取り組み

福島県立平工業高校 生徒会

～テーマ～ 塵も積もれば山となる



★アルミ缶回収による 老人ホームへの車椅子寄贈

44台寄贈

この活動は、自分たちも何か人の役に立つことがしたいという先輩方の思いから生まれました。学校で捨てられてしまうアルミ缶やアルミ廃材地域の方々や先生方の協力もあり、活動を始めてから21年間で計14.3tのアルミ缶を回収しました。



★ペットボトルキャップ回収による 開発途上国支援

ペットボトルキャップ800個でポリオワクチン1本(20円)になります。ワクチンの本数はこれまで、2380人分(キャップ205万個、1720kg)を達成しています。



★アフリカ・マリ共和国へ ジャージ・運動靴を贈る活動

16回発送

高校入学時に購入した指定のジャージや運動靴を卒業時に寄付してもらっています。また、先生方や地域の方々が寄付して下さります。それをマリ共和国へ贈っています。平成18年から始まったこの活動は15年目になりました。令和3年9月に行った第16回発送式では、計260点【177kg】(ダンボール35箱)の運動靴を発送しました。輸送費は全校生徒や職員の方々からの募金等で集めています。



「活動理念」

すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために

★節電・節水

- ・校舎内の照明スイッチに節電シールを貼る
- ・毎日の放送による、節電・節水の呼びかけ
- ・放課後生徒会役員で校舎内の見回り
(不要なコンセントを抜く、不要な照明の消灯作業)



福島議定書事業を通して

CO₂排出量 11.5% 削減

	令和2年度	令和3年
電気使用量	65798 kWh	58290 kWh
水道使用量	861 m ³	702 m ³

私達は、「すべては喜んでくれる人たちの笑顔のために」という活動理念のもと、捨てればゴミになってしまう物を資源として再利用し、様々な国際・社会貢献活動を行ってきました。一つ一つの活動はとも地味ですが、積み重ねていくことで大きな成果を得ることが出来ます。福島議定書事業に取り組んでみても、毎日の地道な活動を続けた結果、基準年度に比べて約1割以上のCO₂排出を削減することが出来ました。これからも平工生徒会はSDGsの目標達成に向け活動を続けていきます。

★環境美化活動

- ・購買部前のごみ箱をきれいにし、分別ポスターを掲示することで生徒一人一人のごみの分別の意識を高めた
- ・校門前・校地内にある花壇を、緑化委員会・JRCボランティア愛好会と合同で定期的に整備し、学校の環境美化に努めた
(第54回福島民友新聞社花いっぱいコンクール奨励賞受賞)

